

平成 26 年度の事業報告書

平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人 子どもの心理療法支援会

1 事業の成果

1. 児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業について

昨年度までと同様、京都の御池心理療法センターと大阪の大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室に委託し、京都と大阪の二ヶ所で子どものアセスメントや心理療法、および保護者・関係者へのコンサルテーションの資金面での支援を行っている。

今年度は、福祉施設児童 2 ケース、在宅児童 3 ケース、里親里子 1 ケースの合計 6 ケースについてアセスメントおよび心理療法の支援が行われた。

- ① 児童福祉領域の対象となる子どもへのアセスメント支援：今年度、御池心理療法センターにおいて、計 2 ケースに対して 18 回のアセスメント支援が行われた。
- ② 児童福祉領域の対象となる子どもへの心理療法支援：御池心理療法センターにおいて、2 ケースに対して、子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて 102 回の支援が行われた。大阪心理研究所・京橋心理相談室において、3 ケースに対して子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて 136 回の支援が行われた。

2. 発達障害の子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業について

- ① 発達障害児へのアセスメントサービス事業支援：御池心理療法センターにおいて、11 ケースに対して、合計 85 回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、4 ケースに対して、合計 54 回の支援が行われた。
- ③ 発達障害児の心理療法支援：御池心理療法センターにおいて、2 ケースに対して、子どもの心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて 78 回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、4 ケースに対して子どもの心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて 119 回の支援が行われた。

3. 養育者の心理相談・育児支援事業について

キンダーカウンセラー派遣事業支援：昨年度に引き続き 1 施設に対して、18 回分の支援を行っている。派遣費用の半額を幼稚園が負担し、残りの半額を NPO が支援している。

コンサルテーション事業支援：昨年度に引き続き、今年度も大阪府内の児童養護施設 2 施設において、職員へのコンサルテーション支援がおこなわれた。それぞれの施設に対して 6 回および 10 回、合計 16 回分のコンサルテーションにかかる費用のうち一部を支援している。

4. 精神分析的心理療法の研修・セミナーの企画・運営について

- ① 臨床セミナー事業：「京都精神分析・臨床セミナー」を企画し、年 6 回開催した。今年度は、58 名の参加者があり、参加者アンケートでは毎回高い評価を得ている。また、このセミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の定める「定例型研修会」としても承認されている。

昨年度に引き続き「基礎の基礎セミナー」（参加者 10 名）も開講し、精神分析的心理療法の導入機会を提供している。

②研修事業：引き続き「精神分析的心理療法研修プログラム」を通年で開催している。2015 年 4 月開講の研修プログラムでは、全 14 コースを設け、述べ 129 名の専門家が研修を受けている。また、2015 年 7 月 26 日に大阪経済大学にて「サポチル 10 周年記念子どもの心理療法研究会」を開催した。参加者は 101 名だった。

※2012 年度より開始した「子どもの精神分析心理療法士」の資格認定制度を 2015 年度も実施し、3 名の申請があり、資格審査委員により面接を行い、資格審査委員会において合否が審議され、3 名とも合格となった。

5. 子どもの精神分析的心理療法に関する啓蒙・広報活動について

①広報活動事業：会報の作成（1000 部）、メールマガジン（正会員向け）、サポチル通信（会員向けニュースレター）の発行、チラシ（発達相談サービス）の作成（2000 部）を行った。2015 年 6 月には、ホームページをリニューアルした。また、2015 年 9 月 13 日に阿倍野市民学習センターにおいて、講師に北川恵先生をお招きして、アタッチメントなどについて一般市民向けの講演会を開催した（参加者 80 名）。

②運営資金獲得事業：京都地域創造活動基金において、「心理療法支援事業」が採択されており（2016 年 3 月まで）、活動報告や集まった寄附を受領した。受領学派 25,552 円だった。また、2015 年 5 月に、鶴飼奈津子先生をお招きし、「専門会員の集い」を開催した（29 名の専門会員が参加）。

6. 精神分析的心理療法に関する研究活動について

研修プログラムのコース「京都精神分析研究会」では、精神分析に関する文献の研究、事例の検討会などを行い会員の研修や研究活動を支えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E)人数	支出額 (千円)
精神分析的心理療法の研修・セミナーの企画・運営事業	臨床セミナー事業 2014-15 年度 京都精神分析・臨床セミナー	(A) 6 回/年度 (B) キャンパスプラザ京都、京都テルサ、アランベールホテル (C) 20 人×6 回	(D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 約 80 人	2,057
	臨床セミナー事業 2014-15 年度 基礎の基礎セミナー	(A) 6 回/年度 (B) 御池心理療法センター (C) 2 人×6 回	(D) 子どもの心理療法の初心者 (E) 15 人	155
	研修事業 （研修プログラム・乳児観察ワークショップ） 専門性の高い内容を学ぶた	<研修プログラム> (A) 2015 年 4 月～ (B) 御池心理療法センター/梅田/なんば	<研修プログラム> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生	5,444

		めの小グループセミナーおよび勉強会	オフィス (C)5人 <10周年記念研究会> (A)2015年7月26日 (B)大阪経済大学 (C)38人	(E)延べ約129人 <10周年記念研究会> (D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)101人	
◇児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業 ◆子どもに関わる専門家に対するコンサルテーションへの支援事業	心理療法支援事業	◇心理療法及びアセスメント面接にかかる料金補助 ◆関係者へのコンサルテーションにかかる料金補助	(A)2007年10月～継続中 (B)御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室 (C)10人	(D)児童養護施設入所児童、児童養護施設退所児童、自立支援施設児童、知的障害児施設、里子、被虐待児、及び保護者、学校職員、施設職員 (E)約12人	2,788
		コンサルテーション支援	(A)2014年10月～継続中 (B)対象となる施設 (C)2人×16回	(D)施設職員 (E)延べ20名	
		◇心理療法及び発達相談サービスにかかる料金補助 ◆発達障害の子どもへの親へのコンサルテーションに対する支援	(A)2007年10月～継続中 (B)御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室 (C)10人	◇(D)発達障害をもつ子ども (E)21人 ◆(D)発達障害をもつ子どもの養育者 (E)21人	
		研修会の企画・運営		今年度は実施しなかった。	
◇発達障害の子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業 ◆養育者の心理相談・育児支援事業		キンダーカウンセラーの派遣支援	(A)07年12月～継続中 (B)対象となる幼稚園 (C)2人×17回	(D)保護者、園児、保育士など (E)延べ約60人	
	子どもの精神分析的な心理療法に関する啓蒙・広報活動事業	広報活動事業 メールマガジン、サポチル通信、ホームページ、会報、チラシ	(A)通年 (B)事務所 (C)5人	(D)会員・一般 (E)不特定多数	1,282
		運営資金獲得事業 寄付金や助成金の獲得を目指す	(A)通年 (B)事務所 (C)2人	(A)支援を受ける子ども及び養育者、子どもの福祉に関わる関係者など (B)約40人	198

精神分析的な心理療法に関する研究活動事業	研究活動事業 精神分析研究会の研究・研修活動の支援	(A) 10 回 (B) 佛教大学臨床心理学研究センター会議室 (C) 2 人	(D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 述べ約 30 人	0
----------------------	-------------------------------------	---	---	---

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。